

薬学科

臨床薬学基礎実習

Practice in Basic Clinical Pharmacy Service

薬：E4-02322MY

医療科目 3 年／後期 2 単位 必修科目

科目責任者 花田 和彦(薬物動態学研究室)

■教育目的

薬物治療に対して責任の一端を担える臨床薬剤師を養成するため、その基盤となる専門的スキル(情報検索、病態評価、薬物動態評価、文献評価)を習得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、YD-④、YD-⑥】

■学習到達目標

1. 医薬品に関する種々の情報を適切な情報源から入手できる。(知識・技能)
2. 生理機能や血液、尿検査等の臨床検査データから患者の病状を適確に把握できる。(知識・技能)
3. 血中薬物濃度データをもとに患者に個別化した用法・用量を提案できる。(知識・技能・態度)
4. 専門的な視点から医薬品情報を評価、整理、加工、伝達できる。(知識・技能・態度)
5. 症例をもとに薬物治療の評価を行うことができる。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：実習書の内容について予習するとともに、各項目について課せられた宿題を行う。(40 分以上)

復習：提出したレポートを再度確認し、理解を深める。(20 分以上)

■授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBO コード
1	医薬品情報検索 1	PubMed 検索	D-3-2-1, D-3-2-5
2	医薬品情報検索 2	三次資料と電子化情報源	D-3-2-1, D-3-2-2, D-3-2-3, D-3-2-4
3	臨床検査データの解釈 1 A	臨床検査値の解釈と評価 1：症例をもとに考える	D-1-2-2, D-1-2-3
4	臨床検査データの解釈 1 B	バイタルサインチェック、フィジカルアセスメント	F-1-1-3
5	臨床検査データの解釈 2	臨床検査値の解釈と評価 2：症例からプロブレムリストを作成し、症例解析を行う	D-3-5-2, F-1-1-9, F-1-1-10
6	臨床検査データの解釈 3	臨床検査値の解釈と評価 3：SOAP を用いた症例解析	D-3-5-2, F-1-1-9, F-1-1-10
7	薬物動態解析・TDM 1	投与設計、治療薬物モニタリングと SGD	D-4-2-2, D-4-2-3
8	薬物動態解析・TDM 2	血中薬物濃度データの解析とシミュレーション。報告書の作成	D-4-2-2, D-4-2-3
9	文献評価 1	臨床研究論文の批判的吟味と SGD	D-3-3-1, D-3-3-2, D-3-3-4, D-3-3-5, D-3-4-1
10	文献評価 2	臨床研究論文の批判的吟味と SGD	D-3-3-1, D-3-3-2, D-3-3-4, D-3-3-5, D-3-4-1
11	医薬品評価	医薬品評価と SGD	D-3-2-1, D-3-2-2, D-3-2-3, D-3-2-4, D-3-4-3

■授業分担者

植沢 芳広、蒲生 修治、櫛山 暁史、鈴木 立紀、小林 カオル、花田 和彦、廣瀬 誠、前田 英紀、花井 雄貴、宮嶋 篤志、高橋 雅弘、峰岸 元気、山室 大介、渡辺 史也

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

適宜、解説等によるフィードバックを行う。

課題・レポートの内容等(60%)、実習試験(40%)に基づいて総合的に評価する。

■参考書

「Drug Information: A Guide for Pharmacists」(McGraw-Hill)

「フィジカルアセスメントがみえる」(医療情報科学研究所)

「臨床薬物動態学：薬物治療の適正化のために」(丸善)